

防災通信 No.20

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

救急医療情報キット ！

「救急医療情報キット」とは、自分の氏名、年齢、持病、かかりつけ医、緊急連絡先などの情報を記入した用紙を円筒形のプラスチック容器などの中に入れ、冷蔵庫のドアポケットに保管しておくことで緊急時に活用するものです。

また、玄関の内側上部と冷蔵庫ドア上部に表示マークを貼って、救護者や救急隊に分かりやすいようにします。

医療情報を冷蔵庫に保管することが、自治体との連携で全国的に広まっています。救急活動時に冷蔵庫(台所)は見つけやすく敏速な対応が出来ます。

突然の災害や急病の場合など救護を受けなければならないことが起きたら・・・

ひとり暮らしの方はもちろん、家族がいても駆けつけた救護者や救急隊員に必要な情報を冷静に伝えることはなかなか難しいものです。そんな時のために常備しておく心安いのが、「救急医療情報キット」です。

【栄区での対応】

栄区では以下に該当する世帯に1世帯につき1本「**緊急時医療情報キット**」を栄区役所、**地域ケアプラザの窓口にて無料で配布**しています。

- ・高齢者(65歳以上)
 - ・障害者(身体障害手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳を持つ人)がいる世帯
- ※ 外国人や認知症の方など、緊急時の情報伝達が困難でキットが必要な方のいる世帯へもお渡しします。



【無料配布対象外の方へ】

ネットでも類似品の購入ができます。また、左記映像でもわかるように横浜市で配布しているものでも区によりデザインが違いますし、地方自治体では自作キットを紹介しているところもあります。

たとえば、情報シートをダウンロードして記載し、100円均一の円筒形プラスチック容器(片栗粉入れなど)とマグネットシートを利用して保管すれば代替品となります。

【まとめ】

このキットは災害時にも適正かつ敏速な処置の助けとなります。救急隊が出動するような緊急時では、医療の施し方一つ、情報の錯綜による1分1秒の遅れが、その人の命に大きな影響を与えます。

特に近年では、単身世帯も多いので、本人が話すことができない場合でもキットに入っているシートが本人に代わって情報を提供します。

「緊急時医療情報キット」設置済みの方は内容確認、情報更新を！ まだの方は設置のご検討を！